



ナマズの知恵袋

平成26年(2014年)7月1日
編集・発行 滋賀県立図書館



街道今昔 ～歴史の道をたどる～



(野路の玉川)

滋賀は古代より交通の要衝でありました。中でも県立図書館のある瀬田周辺地域は、古代には東山道と東海道の分岐点となり、中世戦国期には「唐橋を制する者は天下を制す」と言われ、軍事上の重要地点となりました。江戸時代には、東海道の一里塚が現在の一里山に築かれ、多くの旅人がここを通りました。数々の歴史の舞台となった道を、あなたもたどってみませんか。

近江の街道の概要を調べるには

- ◆『近江の街道』(小林博・木村至宏編 サンブライツ出版 1982年 S-6800-82)・『図説近江の街道』(木村至宏監修 郷土出版社 1994年 SB-6800-94)は街道の解説だけでなく、周辺の史跡や名勝の解説もされています。◆『滋賀県の交通史 資料集』(田中慶希著 田中慶希 1995年 5-6800-95)は小・中学生にもわかりやすくルビがふってあり、参考文献も付いています。
- ◆『中近世古道調査報告書1～2』(滋賀県教育委員会編・刊 1994・1996年 SB-6800-1～2)・『中近世古道調査報告3～9』(滋賀県教育委員会編・刊 2000～2006年 SB-6800-3～9) 滋賀県が行った各街道の現地調査と文献調査の結果をまとめたものです。後に、『近畿地方の歴史の道 滋賀 1～3』(滋賀県教育委員会編 海路書院 2005～2006 5-6800-1～3)として複製合本されたものが発行されています。



(草津追分)

もっとくわしく近江の街道を調べるには

- 東海道**◆『近江東海道』(淡海文化を育てる会編・刊 1996年 S-6800-96) 地名および主要地点索引、近江東海道モデルコースがあります。
- 中山道**◆『近江中山道』(淡海文化を育てる会編・刊 1998年 S-6800-98) 地名および主要地点索引、近江中山道の探訪ルート、参考文献が付いています。
- 朝鮮人街道**◆『「朝鮮人街道」をゆくー彦根東高校新聞部による消えた道探しー』(門脇正人著 サンライズ印刷出版部 1995年 S-6800-95) 高校生が実際に歩き、地元の人のお話も聞きながらまとめたものです。
- 北国街道**◆『近江北国街道物語』(馬場秋星著 イメーディアリンク 1994年 S-6800-94) 昭和63年1月から平成2年1月まで、中日新聞の滋賀版に連載されたものです。沿道に関する歴史や人物について簡潔に知ることができます。
- 西近江路**◆『週刊日本の街道 28 西近江路』(講談社 2002年 SB-6810-02) 写真を豊富に配して、街道付近の現在の様子も解説されています。

街道を歩いてみましょう

- ◆『近江のざらし行』(全4篇 宇野柏葉著 サンライズ印刷 1989～1996年 S-2900-1～4)が実際に歩くときの参考になります。
- ◆ナマズの知恵袋 第32号「滋賀を歩く」もご参照ください。

※絵はすべて『東海道名所図会』(秋里籬島 原著)によるものです

全国の街道を調べる

江戸時代の五街道をご存知ですか。東海道・中山（仙）道・日光道中（街道）・奥州道中（街道）・甲州道中（街道）の5つです。五街道は江戸を起点とする街道で、幕府の道中奉行が直接管理した道です。このほかに脇往還（脇街道）と呼ばれる多くの道が全国を通っていました。『日本交通史辞典』（丸山雍成ほか編 吉川弘文館 2003年 R-6821-マ）は、交通史上の様々な事項を専門的に解説していますが、その中に全国の主要な古街道が収録されています。



(逢坂の関)



(逢坂の関)

地域別に調べるには、『**県別全国古街道事典**』東日本編・西日本編（みわ明編 東京堂出版 2003年 G-6821-ミ）や『**日本の街道ハンドブック**』新版（竹内誠監修 三省堂 2006年 G-6821-ニ）が便利です。街道の経路図や写真を交えて読み物としても楽しめるように編集されています。後者には、収録している街道や宿場の資料を保管・展示している施設が数多く掲載されています。『**今昔東海道独案内**』・『**今昔中山道独案内**』（今井金吾編 日本交通公社出版事業局 1994年 G-2915-イ）、『**今昔三街道独案内 日光・奥州・甲州**』（今井金吾編 日本交通公社 1976年 2-2910-イ）は、五街道のルートを現在の地形図に落として表示しています。

古代の道を調べる

もっと時代をさかのぼって古代の道を調べるには、『**日本古代道路事典**』（古代交通研究会編 八木書店 2004年 RB-6821-コ）、『**事典日本古代の道と駅**』（木下良著 吉川弘文館 2009年 3-6821-キ）、などが役に立ちます。

また、『**古代の道—完全踏査—**」[正]・続（武部健一著 吉川弘文館 2004年・2005年 G-6852-ク）は、現地調査時の写真とともに、近辺の情報などが詳しく書かれており、実際に当時のルートをたどろうとする際の参考になります。

描かれた街道を調べる

五街道は、浮世絵の風景画や、^{めいしよすえ}名所図会にも多く描かれ、それらは現代のガイドブックの役割を果たしました。五街道のいにしへの様子を浮世絵や絵図・古写真でビジュアル的に楽しむには、『**江戸の旅と交通**』（竹内誠監修 学習研究社 2003年 G-6821-ク）や『**古地図・古写真で見る東海道五十三次**』（今井金吾編 新人物往来社 2002年 G-6821-イ）があります。

昔の絵図をパソコンから見るには

当館ホームページ

<http://www.shiga-pref-library.jp/>の

「近江デジタル歴史街道」より「街道」で検索していただくと、『東海道名所図絵』・

『膳所藩領内中仙道図』・『伊勢参宮名所図会2』・『木曾路名所図会』・『東海木曾両道中懐宝記』などの古文書や絵図をご自宅のパソコンから見ていただくことができます。また、滋賀県庁のホームページ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/>からも「街道」で引くと、街道めぐりの情報などを調べることができます

街道を体験するには？

東海道と中山道の分岐点、草津には、大名や皇族が宿泊した**草津宿本陣**が保存されていて、江戸時代の貴重な資料が展示されています。忠臣蔵で有名な浅野内匠頭や、新撰組の土方歳三が記帳した宿帳も見ることができます。また、本陣の近くにある**草津宿街道交流館** (<http://www.kusatsujuku.jp/kaido/>) には、旅の衣装を身に着けたり、駕籠にのったりできる体験コーナーもあり、街道を身近に感じることができます。



(姥が餅屋)